

群馬県立高校の家庭科で「明るい未来へTRY!」を 活用した授業を実施しました！

～リスクマネジメントと損害保険の基本・役割について学ぶ～

日本損害保険協会 関東支部 群馬損保会（会長：上杉 克・東京海上日動火災保険株式会社 群馬支店長）では、7月12日に群馬県立館林商工高等学校で、同校家庭科の荒井 絹代教諭が当協会作成の高校生向け金融教育副教材「明るい未来へTRY!」を活用した授業を実施し、関東支部職員がサポートしました。

当日は、「消費者教育」の指導領域で、1年生の4クラス122名を対象に、「明るい未来へTRY!」を使用して、「将来に備えた経済計画を考えよう～身の回りのリスクへの対策～」と題した授業およびグループ学習を行いました。

各回とも、初めに、荒井教諭から、社会保険と民間保険の違いや保険の役割などについて説明があり、続いて貯蓄と保険の違い等について、動画教材を併用した説明が行われました。

次に、ワークシートに基づき、「将来実現したい夢やライフイベント」、「その際の想定されるリスク」について個人で考えたうえでグループディスカッションし、まとめた内容について発表が行われました。

そして、そこで出された様々なケースで想定されるリスクとそれに対応する保険について説明を行い、最後に、授業のまとめとして、荒井教諭から、自動車のリスクに関しては、高額賠償判決事例を踏まえると、自賠責保険だけではなく、任意の自動車保険にも必ず加入して十分な賠償資力を確保しておくことが必要であることや、海外旅行に行く前には、必ず海外旅行保険に加入しておく必要があることなどが伝えられました。

ワークシートにおいて、生徒からは、「人生には予測不能なリスクが多々あると学んだ。それぞれのリスクへの備えについて考えるべきだと思った。」、「様々なライフイベントの中にはリスクもあるので、それらに備えるために保険に加入しておくことが必要であることを学んだ。」などといった感想が寄せられました。本授業を通じて、将来、社会生活を送る上で遭遇するリスクに応じて保険を活用していくことが重要であることを生徒に理解してもらい、リスク教育を推進することができました。

当支部では、このような授業実践、講師派遣等を通じて、今後も高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。



生徒に説明する荒井 絹代教諭



グループディスカッションの様子